

獨逸文學研究

報告第5號

1956

京都大學教養部獨逸語研究室

目次

文藝に於ける現實性の問題……………	梶野あきら……………(一)
(近代ドイツ文藝史上のレアリズムに關聯して)	
ゲーテ・プロメーティス斷片について……………	臼井竹次郎……………(三)
ミンネ歌人ラインマル(承前)……………	石川敬三……………(五)
ヘルダーリン論争……………	高原宏平……………(六五)
——一九五六年度ヘルダーリン協會大會から	
獨逸語教授における發音の問題……………	鹽谷 饒……………(一)

獨逸文學研究

報告第 5 號 (非賣品)

1956年12月 5 日印刷

1956年12月10日發行

編集兼發行者

京都大學教養部獨逸語研究室

代表者 杉 山 隆 七

印 刷 者

伊 藤 久 春

京都市左京區田中西浦町四〇

弘文堂印刷所